

e-モニターアンケート結果報告書

アンケート名称	災害時における日頃からの備えに関するアンケート
担当部・課名	危機管理室 危機管理課
アンケート結果の市政への反映状況	
<p>今回のアンケート調査では、皆様が日頃からどれだけ災害に対して備えているかを確認するとともに、昨年3月に実施したアンケート調査と比較して危機管理室で行ってきた広報啓発がどの程度効果があったのかを調査しました。</p>	
<p>(1)今回の回答結果</p> <p>自宅での食料・飲料水の備蓄は、7割以上の実施率であることから、備蓄に対する市民の防災意識の高さがうかがえ、市の広報活動の効果がある程度あったと考えられます。</p> <p>その一方で、トイレの備蓄に関しては5割弱の実施率であり、改善の余地があります。また、避難情報の内容を理解している人や避難場所・避難所の選定、家族との連絡方法の確認をしている人は、3割程度と低い水準となっており、さらにはマイ・タイムラインの作成やローリングストックに関してもまだまだ実践していない人が多く存在します。</p>	
<p>(2)前回の調査結果との比較</p> <p>前年の調査結果と比較すると、自宅周辺の災害リスクを認知している人や自宅での食料、飲料水、トイレの備蓄を行っている人、水の備蓄を3日分以上している人の割合は増加しており、市民の防災意識の向上は、本市の広報啓発活動や能登半島地震の影響によるものだと考えられます。</p> <p>その一方で、自治会等の防災訓練や地域の防災活動（自主防災組織）に参加しようと思いませんかとの質問に対しては、どの項目についても概ね前年と同じ割合で推移しています。この項目の中にある参加したいが、参加の仕方が分からないと回答している人が3割近く存在します。</p>	
<p>以上のことから、マイ・タイムライン等の実践度の低いものや防災訓練や地域の防災活動への参加方法、在宅避難を行うためのトイレの備蓄のなど、より一層の広報啓発活動を通じて、市民に対して広く呼びかけ、市民のさらなる防災意識の向上につなげたいと考えております。</p>	